

投資リスク（その他の留意点）／追加的記載事項／指数について

[iFreeETF S&P500（為替ヘッジなし）]

<追加的記載事項>

基準価額の動きに関する留意点

■iFreeETF S&P500（為替ヘッジなし）は、信託財産の1口当たりの純資産額の変動率を対象株価指数の変動率に一致させることを目的として運用を行ないます。ただし、主として次の理由から、基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。

- 指数の構成銘柄のすべてを指数の算出方法どおりに組入れない場合があること
- 運用管理費用（信託報酬）、売買委託手数料等の費用負担
- 株式売買時の約定価格と基準価額の算出に使用する株価の不一致
- 指数の算出に使用する株価と基準価額の算出に使用する株価の不一致
- 指数の算出に使用する為替レートと基準価額の算出に使用する為替レートの不一致
- 株価指数先物およびETFと指数の動きの不一致（先物およびETFを利用した場合）
- 株式、株価指数先物取引およびETFの最低取引単位の影響
- 株式、株価指数先物およびETFの流動性低下時における売買対応の影響
- 指数の構成銘柄の入替えおよび指数の算出方法の変更による影響

<指数について>

S&P500(「当インデックス」)はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社(「SPDJI」)の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S&P[®]、S&P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®]およびCDX[®]は、S&P Global, Inc. またはその関連会社(「S&P」)の商標です。Dow Jones[®]は、Dow Jones Trademark Holdings LLC(「Dow Jones」)の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJIに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&P、それらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

[iFreeETF S&P500（為替ヘッジあり）]

<追加的記載事項>

基準価額の動きに関する留意点

■iFreeETF S&P500（為替ヘッジあり）は、信託財産の1口当たりの純資産額の変動率を対象株価指数の変動率に一致させることを目的として運用を行ないます。ただし、主として次の理由から、基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。

- 指数の構成銘柄のすべてを指数の算出方法どおりに組入れない場合があること
- 運用管理費用（信託報酬）、売買委託手数料等の費用負担
- 株式売買時の約定価格と基準価額の算出に使用する株価の不一致
- 指数の算出に使用する株価と基準価額の算出に使用する株価の不一致
- 指数の算出に使用する為替レートと基準価額の算出に使用する為替レートの不一致
- 株価指数先物およびETFと指数の動きの不一致（先物およびETFを利用した場合）
- 株式、株価指数先物取引およびETFの最低取引単位の影響
- 株式、株価指数先物およびETFの流動性低下時における売買対応の影響
- 指数の構成銘柄の入替えおよび指数の算出方法の変更による影響

<指数について>

S&P500(「当インデックス」)はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社(「SPDJI」)の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S&P[®]、S&P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®]およびCDX[®]は、S&P Global, Inc. またはその関連会社(「S&P」)の商標です。Dow Jones[®]は、Dow Jones Trademark Holdings LLC(「Dow Jones」)の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJIに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&P、それらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

[iFreeETF S&P500 インバース]

<投資リスク（その他の留意点）>

「S&P 500 先物インバース日次指数」に内在する性質に関する注意点

■対象指標とする「S&P 500 先物インバース日次指数」は基本的に原指標の「S&P500 先物指数」の変動率の「-1倍」(マイナス1倍)の値動きになる指数です。指標と原指標は完全な逆相関ではないため、複数日以上計算期間では、複利効果のため指数値は一般的に「S&P500 先物指数」の変動率の「-1倍」とはならず、計算上、差が生じます。この差は当該期間中の「S&P500 先物指数」の値動きによって変化し、プラスの方向にもマイナスの方向にもどちらにも生じる可能性があります。一般に、「S&P500 先物指数」の値動きが一定の範囲内で上昇・下落を繰り返した場合に、マイナスの方向に差が生じ、対象指標は通

減する可能性が高くなります。また、一般に、当該期間が長くなればなるほどその差が大きくなり、対象指標の逡減が強まる特性を持ちます。

<追加的記載事項>

基準価額の値動きに関する留意点

■iFreeETF S&P500 インバースは、信託財産の1口当たりの純資産額の変動率を対象株価指数の変動率に一致させることを目的として運用を行ないます。ただし、主として次の理由から、基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。

- 株価指数先物取引の売建玉の時価総額の合計額が必ずしも純資産総額と同額とならないこと
- S&P500 先物指数の値動きと、利用する株価指数先物の値動きとの差
- 追加設定および解約に対応した株価指数先物取引の約定価格と終値の差
- 株価指数先物取引をロールオーバーする過程における、限月の異なる先物間の価格差の変動
- 公社債等の短期有価証券への投資による利子収入等があること
- 運用管理費用（信託報酬）、監査報酬、売買委託手数料等の負担
- 株価指数先物の流動性が低下した場合などにおける売買対応の影響
- 株価指数先物の最低取引単位の影響

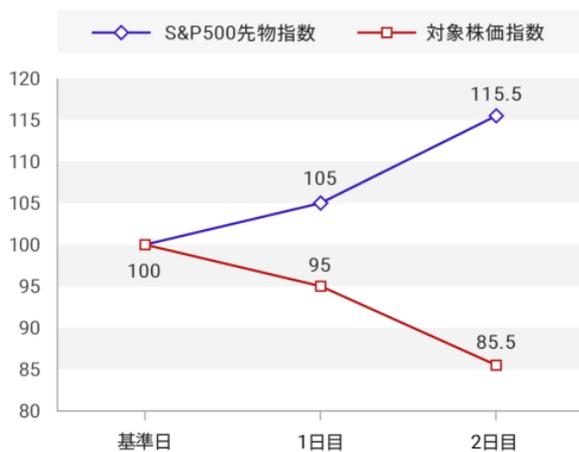
対象株価指数の値動きについて

■「対象株価指数」は、変動率が「S&P500 先物指数」の日々の変動率の-1倍となるように算出されているため、前日と比較するとその変動率は「S&P500 先物指数」の-1倍となりますが、2日以上離れた日との比較においては、「S&P500 先物指数」の変動率の「-1倍」になるわけではありません。

[例 1] S&P500 先物指数が1日目に5%上昇し、2日目に10%上昇した場合

◆「2日目」と「基準日」とを比較し、対象株価指数の値動きは $(85.5 - 100) \div 100 = -14.5\%$ であり、S&P500 先物指数の値動き $(115.5 - 100) \div 100 = 15.5\%$ の-1倍とはなっていません。

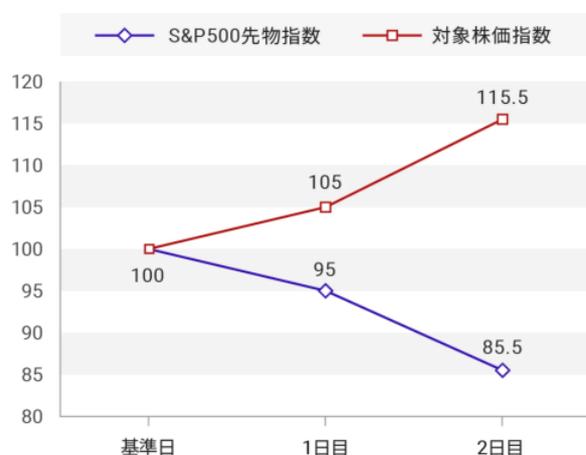
	基準日	1日目 (前日比)		2日目 (前日比)		2日目と 基準日の比較
S&P500 先物指数	100	105	5%	115.5	10%	15.50%
対象株価 指数	100	95	-5%	85.5	-10%	-14.50%



[例 2] S&P500 先物指数が 1 日目に 5%下落し、2 日目に 10%下落した場合

◆「2 日目」と「基準日」とを比較し、対象株価指数の値動きは $(115.5 - 100) \div 100 = 15.5\%$ であり、S&P500 先物指数の値動き $(85.5 - 100) \div 100 = -14.5\%$ の -1 倍とはなっていません。

	基準日	1日目 (前日比)		2日目 (前日比)		2日目と 基準日の比較
S&P500 先物指数	100	95	-5%	85.5	-10%	-14.50%
対象株価 指数	100	105	5%	115.5	10%	15.50%



[例 3] S&P500 先物指数が 1 日目に 5%上昇し、2 日目に 10%下落し、3 日目に 6%上昇した場合

◆「3 日目」と「基準日」とを比較し、対象株価指数の値動きは $(98.23 - 100) \div 100 = -1.77\%$ であり、S&P500 先物指数の値動き $(100.17 - 100) \div 100 = 0.17\%$ の -1 倍とはなっていない。

	基準日	1日目 (前日比)		2日目 (前日比)		3日目 (前日比)		3日目と 基準日の比較
S&P500 先物指数	100	105	5%	94.5	-10%	100.17	6%	0.17%
対象株価 指数	100	95	-5%	104.5	10%	98.23	-6%	-1.77%



※上記は、対象株価指数の値動きをわかりやすく説明するため、細部を省略し抽象化して説明した例であり、実際とは異なりますのでご注意ください。

<指数について>

S&P 500 先物インバース日次指数（「当インデックス」）は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S&P®、S&P 500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx® および CDX®は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S&P」）の商標です。Dow Jones® は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJI に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&P、それらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

[iFreeETF S&P500 レバレッジ]

<投資リスク（その他の留意点）>

「S&P 500 先物 2 倍レバレッジ日次指数」に内在する性質に関する注意点

■対象指標とする「S&P 500 先物 2 倍レバレッジ日次指数」は基本的に原指標の「S&P500 先物指数」の変動率の「2 倍」の値動きになる指数です。

指標と原指標は完全な正相関ではないため、複数日以上の計算期間では、複利効果のため指数値は一般的に「S&P500 先物指数」の変動率の「2 倍」とはならず、計算上、差が生じます。この差は当該期間中の「S&P500 先物指数」の値動きによって変化し、プラスの方向にもマイナスの方向にもどちらにも生じる可能性があります。一般に、「S&P500 先物指数」の値動きが一定の範囲内で上昇・下落を繰り返した場合に、マイナスの方向に差が生じ、対象指標は逡減する可能性が高くなります。また、一般に、当該期間が長くなればなるほどその差が大きくなり、対象指標の逡減が強まる特性を持ちます。

<追加的記載事項>

基準価額の値動きに関する留意点

■iFreeETF S&P500 レバレッジは、信託財産の 1 口当たりの純資産額の変動率を対象株価指数の変動率に一致させることを目的として運用を行いません。ただし、主として次の理由から、基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。

- ・ 株価指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が必ずしも純資産総額の 2 倍と同額とならないこと
- ・ S&P500 先物指数の値動きと、利用する株価指数先物の値動きとの差
- ・ 追加設定および解約に対応した株価指数先物取引の約定価格と終値の差
- ・ 株価指数先物取引をロールオーバーする過程における、限月の異なる先物間の価格差の変動
- ・ 公社債等の短期有価証券への投資による利子収入等があること
- ・ 運用管理費用（信託報酬）、監査報酬、売買委託手数料等の負担
- ・ 株価指数先物の流動性が低下した場合などにおける売買対応の影響
- ・ 株価指数先物の最低取引単位の影響

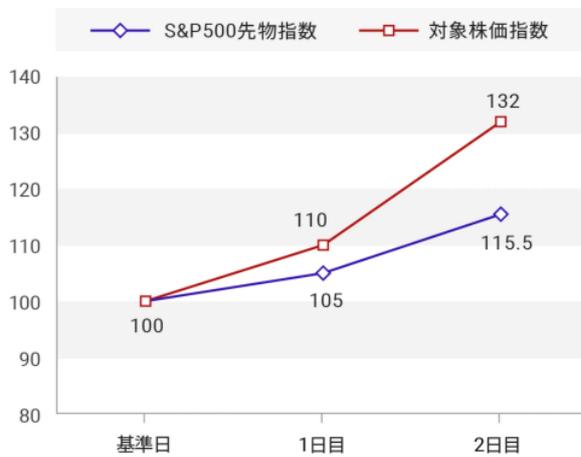
対象株価指数の値動きについて

■「対象株価指数」は、変動率が「S&P500 先物指数」の日々の変動率の 2 倍となるように算出されているため、前日と比較するとその変動率は「S&P500 先物指数」の 2 倍となりますが、2 日以上離れた日との比較においては、「S&P500 先物指数」の変動率の「2 倍」になるわけではありません。

[例 1] S&P500 先物指数が 1 日目に 5%上昇し、2 日目に 10%上昇した場合

◆「2 日目」と「基準日」とを比較し、対象株価指数の値動きは $(132-100) \div 100=32\%$ であり、S&P500 先物指数の値動き $(115.5-100) \div 100=15.5\%$ の 2 倍とはなっていません。

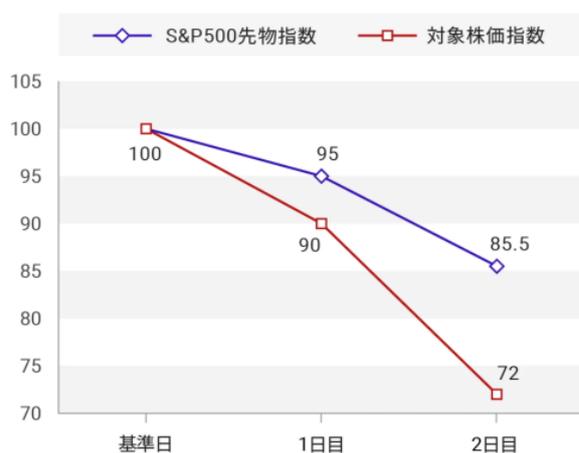
	基準日	1日目 (前日比)		2日目 (前日比)		2日目と 基準日の比較
S&P500 先物指数	100	105	5%	115.5	10%	15.50%
対象株価 指数	100	110	10%	132	20%	32.00%



[例 2] S&P500 先物指数が 1 日目に 5%下落し、2 日目に 10%下落した場合

◆「2 日目」と「基準日」とを比較し、対象株価指数の値動きは $(72-100) \div 100=-28\%$ であり、S&P500 先物指数の値動き $(85.5-100) \div 100=-14.5\%$ の 2 倍とはなっていません。

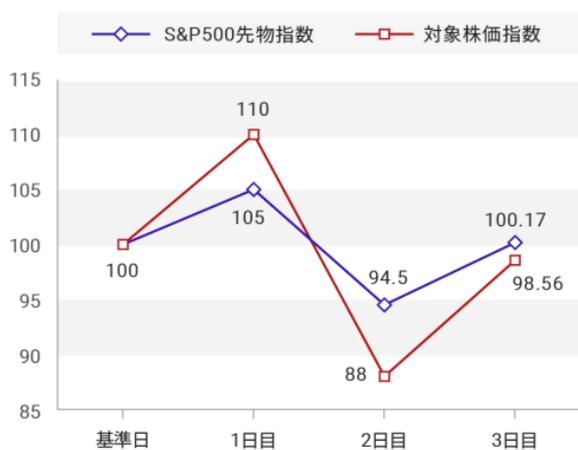
	基準日	1日目 (前日比)		2日目 (前日比)		2日目と 基準日の比較
S&P500 先物指数	100	95	-5%	85.5	-10%	-14.50%
対象株価 指数	100	90	-10%	72	-20%	-28.00%



[例3] S&P500先物指数が1日目に5%上昇し、2日目に10%下落し、3日目に6%上昇した場合

◆「3日目」と「基準日」とを比較し、対象株価指数の値動きは $(98.56 - 100) \div 100 = -1.44\%$ であり、S&P500先物指数の値動き $(100.17 - 100) \div 100 = 0.17\%$ の2倍とはなっていません。

	基準日	1日目 (前日比)		2日目 (前日比)		3日目 (前日比)		3日目と 基準日の比較
S&P500 先物指数	100	105	5%	94.5	-10%	100.17	6%	0.17%
対象株価 指数	100	110	10%	88	-20%	98.56	12%	-1.44%



※上記は、対象株価指数の値動きをわかりやすく説明するため、細部を省略し抽象化して説明した例であり、実際とは異なりますのでご注意ください。

<指数について>

S&P 500 先物 2 倍レバレッジ日次指数（「当インデックス」）は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S&P®、S&P 500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx®および CDX®は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S&P」）の商標です。Dow Jones®は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJI に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&P、それらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

[iFreeETF S&P500 ダブルインバース]

<投資リスク（その他の留意点）>

「S&P 500 先物 2 倍インバース日次指数」に内在する性質に関する注意点

■対象指標とする「S&P 500 先物 2 倍インバース日次指数」は基本的に原指標の「S&P500 先物指数」の変動率の「-2 倍」（マイナス 2 倍）の値動きになる指数です。

指標と原指標は完全な逆相関ではないため、複数日以上計算期間では、複利効果のため指数値は一般的に「S&P500 先物指数」の変動率の「-2 倍」とはならず、計算上、差が生じます。この差は当該期間中の「S&P500 先物指数」の値動きによって変化し、プラスの方向にもマイナスの方向にもどちらにも生じる可能性があります。一般に、「S&P500 先物指数」の値動きが一定の範囲内で上昇・下落を繰り返した場合に、マイナスの方向に差が生じ、対象指標は逓減する可能性が高くなります。また、一般に、当該期間が長くなればなるほどその差が大きくなり、対象指標の逓減が強まる特性を持ちます。

<追加的記載事項>

基準価額の値動きに関する留意点

■iFreeETF S&P500 ダブルインバースは、信託財産の 1 口当たりの純資産額の変動率を対象株価指数の変動率に一致させることを目的として運用を行いません。ただし、主として次の理由から、基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。

- 株価指数先物取引の売建玉の時価総額の合計額が必ずしも純資産総額の2倍と同額とならないこと
- S&P500先物指数の値動きと、利用する株価指数先物の値動きとの差
- 追加設定および解約に対応した株価指数先物取引の約定価格と終値の差
- 株価指数先物取引をロールオーバーする過程における、限月の異なる先物間の価格差の変動
- 公社債等の短期有価証券への投資による利子収入等があること
- 運用管理費用（信託報酬）、監査報酬、売買委託手数料等の負担
- 株価指数先物の流動性が低下した場合などにおける売買対応の影響
- 株価指数先物の最低取引単位の影響

対象株価指数の値動きについて

■「対象株価指数」は、変動率が「S&P500先物指数」の日々の変動率の-2倍となるように算出されているため、前日と比較するとその変動率は「S&P500先物指数」の-2倍となりますが、2日以上離れた日との比較においては、「S&P500先物指数」の変動率の「-2倍」になるわけではありません。

[例1] S&P500先物指数が1日目に5%上昇し、2日目に10%上昇した場合

◆「2日目」と「基準日」とを比較し、対象株価指数の値動きは $(72-100) \div 100 = -28\%$ であり、S&P500先物指数の値動き $(115.5-100) \div 100 = 15.5\%$ の-2倍とはなっていません。

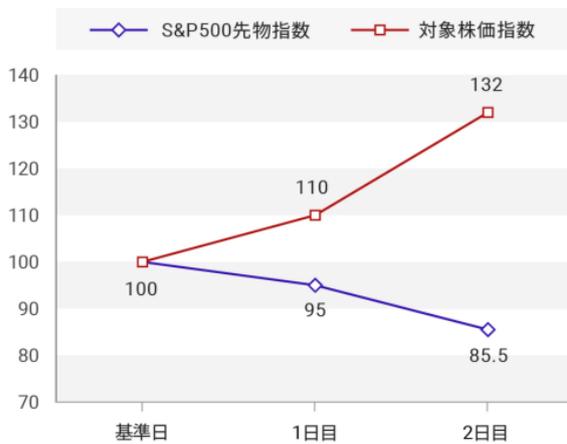
	基準日	1日目 (前日比)		2日目 (前日比)		2日目と 基準日の比較
S&P500 先物指数	100	105	5%	115.5	10%	15.50%
対象株価 指数	100	90	-10%	72	-20%	-28.00%



[例 2] S&P500 先物指数が 1 日目に 5% 下落し、2 日目に 10% 下落した場合

◆ 「2 日目」と「基準日」とを比較し、対象株価指数の値動きは $(132 - 100) \div 100 = 32\%$ であり、S&P500 先物指数の値動き $(85.5 - 100) \div 100 = -14.5\%$ の -2 倍とはなっていません。

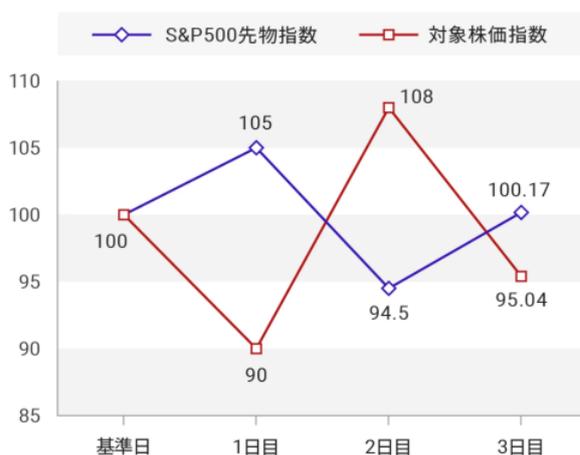
	基準日	1 日目 (前日比)		2 日目 (前日比)		2 日目と 基準日の比較
S&P500 先物指数	100	95	-5%	85.5	-10%	-14.50%
対象株価 指数	100	110	10%	132	20%	32.00%



[例 3] S&P500 先物指数が 1 日目に 5% 上昇し、2 日目に 10% 下落し、3 日目に 6% 上昇した場合

◆ 「3 日目」と「基準日」とを比較し、対象株価指数の値動きは $(95.04 - 100) \div 100 = -4.96\%$ であり、S&P500 先物指数の値動き $(100.17 - 100) \div 100 = 0.17\%$ の -2 倍とはなっていません。

	基準日	1日目 (前日比)		2日目 (前日比)		3日目 (前日比)		3日目と 基準日の比較
S&P500 先物指数	100	105	5%	94.5	-10%	100.17	6%	0.17%
対象株価 指数	100	90	-10%	108	20%	95.04	-12%	-4.96%



※上記は、対象株価指数の値動きをわかりやすく説明するため、細部を省略し抽象化して説明した例であり、実際とは異なりますのでご注意ください。

<指数について>

S&P 500 先物 2 倍インバース日次指数 (「当インデックス」) は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「SPDJI」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S&P[®]、S&P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®]および CDX[®]は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 (「S&P」) の商標です。Dow Jones[®]は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJI に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&P、それらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。